ITU-R　SG5 第 12 回会合報告書（案）

1　会議の概要

ITU-R SG5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5 第 12 回会合は、2016 年 11 月 21 日（月）にスイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。

本会議には 35 カ国の主管庁等から 115 名が参加した。日本からは表 1 に示す 9 名が出席した。

議長は M.FENTON 氏（イギリス）であり、副議長は E.H.ABDOURAMANE 氏（カメルーン）、A.AL-AMRI 氏（サウジアラビア）、S.AL-BALOOSHI 氏（ドバイ）、新　博行氏（日本）、L.BUI HA 氏（ベトナム）、A.S.CALINCIUC（ルーマニア）、M.CATTANEO（アルゼンチン）、C.L.COOK 女史（カナダ）、A.KADAYAN 氏（インド）、H.MAZAR 氏（イスラエル）、B.MBAYE 氏（セネガル）、F.I.ONAH 氏（ナイジェリア）、G.OSINGA 氏（オランダ）、B.PATTEN 氏（アメリカ）、V.POSKAKUKHIN 氏（ロシア）、D.SANOU 氏（ブルキナファソ）、W.SAYED 氏（エジプト）、S.SHAVGULIDZE 氏（グルジア）の 18 名である。

今回の会合においては、23 件の寄与文書と 1 件の回章文書について審議を行った。

勧告案については、表 2 に示すとおり、6 件の文書について、2 件は郵便による採択・承認同時手続き（PSAA）に、4 件は採択が成立し郵便による承認手続きに進むこととなった。また、報告案については、表 3 に示すとおり、3 件の新報告案、2 件の報告改訂案が承認された。

入力文書一覧は巻末の表 4、勧告文書の採択・承認手続きの手順については巻末の図１のとおりである。

表1　SG5会合出席者一覧

氏　名	所　　属
武田　真理	総務省 総合通信基盤局　電波部　移動通信課 新世代移動通信システム推進室　システム開発係
新　博行	（株）ＮＴＴドコモ　無線アクセス開発部
大槻　信也	NTT アクセスサービスシステム研究所　無線アクセスプロジェクト
小川　博世	（国研）情報通信研究機構テラヘルツ研究センター
小山　敏	（一社）電波産業会　研究開発本部　ITS グループ
加藤　康博	（一社）電波産業会　研究開発本部　移動通信グループ
高山 泰一	（株）三菱総合研究所　科学・安全事業本部　フロンティア戦略グループ
宮寺　好男	日本無線（株）　海上機器事業部　企画推進部
松村　広幸	高速近接無線技術研究組合　専務理事

表 2　SG5 会合での勧告の採択状況

	会合にて採択、郵便による承認手続			郵便による採択・承認の同時手続			郵便による採択手続き，その後郵便による承認手続		決議 1-7 A2.6.2.5 に基づく編集上の修正承認	解決を求めるため RA-19 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	削除	新	改訂	削除	新	改訂		新	改訂	新	改訂
WP5A	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TG5/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	4			2			0			0		0	

表 3　SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	研究課題					報告		
	採択された研究課題案 (郵便による承認手続)			決議 1-7 A2.5.2.4 に基づく編集上の修正承認	WP へ差戻し	承認された報告案		
	新	改訂	削除			新	改訂	削除
WP5A	0	0	0	0	0	1	1	0
WP5B	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	2	0	0
WP5D	0	0	0	0	0	0	1	0
TG5/1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	3	2	0
	0					5		

2　審議の内容

2.1　WP5A（IMT を除く陸上移動業務等）関連

（１）WP5A における審議概要

【入力文書:5/35(WP5A 議長)】

WP5A 議長の J.COSTA 氏から SG5 会合の直前に開催された第 17 回 WP5A 会合の概要が報告された。本会合では、ITU-R 勧告改訂案 1 件、ITU-R 新報告案 1 件、ITU-R 報告改訂案 1 件を SG5 へ上程した。

（２）勧告

WP5A 議長から、以下の改訂勧告案 1 件の提案があった。

① 勧告 ITU-R M.1732-1「周波数共用検討で使用するためのアマチュア業務及びアマチュア衛星業務のシステム運用特性」の改訂の提案【入力文書:5/32(WP5A)】

イランより、Annex で示されている特性が必ずしも代表的なものでないかもしれないため、表現を和らげるための修正（Recommend 1 の should → may）が提案され、合意された。PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることが合意された。

（３）報告

WP5A 議長から、以下の新報告案 1 件、改訂報告案 1 件の提案があった。

② 新報告案 ITU-R M.[RAIL.LINK]「特定国における鉄道通信システムの紹介」の提案【入力文書:5/29(WP5A)】

WP5A 議長より説明が行われ、その中で本報告案は WRC-15 の前に始められたことから、WRC-19 議題 1.11 とは直接関係ないとの説明が行われた。

イランより、ITU-R は特定の国の事項について議論する組織ではないため、タイトル中の「in certain countries」を削除すべきであると主張を行った。WP5A 議長より、WP5A ではこのような報告は一般的であり、各国の状況の共有は有益であるため、シンプルに情報提供に当たるとの言及が行われた。

また、イランより、記載内容が特定の国を参考にした内容であることを文書内で明記すべきであり、さらに、Annex1 及び Annex 2 は Information only という表現を記載することが適切であるとの言及が行われた。WP5A 議長より、Coffee break での修正作業も可能との見通しが示された。

また、CCV 議長より、上記の Coffee break での作業において、Annex1 の BLOS について記載された脚注について議論を行いたいと提案が行われた。CCV 議長はこの部分について、CCV のメンバと協議した結果として、BLOS はドローンなど航空関連で見通し外になる場合に使われるが、この鉄道の件では、直接的に見えるかどうかを論じており BLOS とは異なるため、BLOS という表現は不適であるとの結論となったと説明した。イランは上記について反論を行ったが、議長より、Coffee break において審議し、後に再度審議することとされた。

Coffee break における小規模なドラフティンググループの作業結果として、以下の 3 点について修正が行われた。

- ✧ タイトルから「in certain countries」を削除
- ✧ Main body の Annex1 および Annex2 にアスタリスクをつけ、脚注に「Annex1 及び Annex2 は information only」と記載
- ✧ Annex1 の non line-of-sight の脚注について「In some recommendations the term beyond line of sight is also used in other applications.」とする。

イランより、「In some recommendations」→「In some recommendations and reports」とすることが提案され、合意された。
以上で、本報告案は承認された。

③ 報告 ITU-R M.2014-2「Dispatch traffic のため陸上デジタル移動通信システム」の改訂の提案【入力文書:5/33(WP5A)】
イランより、スコープに明確化するため、第三段落を第二段落の前に持っていくべきとの提案が行われ、当該提案を反映した上で、承認された。

2.2 WP5B （海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務）関連

（１）WP5B における審議概要

【入力文書:5/36(WP5B 議長)】
WP5B 議長の J.METTROP 氏から SG5 会合の直前に開催された第 17 回 WP5B 会合の概要が報告された。本会合では、ITU-R 勧告改訂案 1 件を SG5 へ上程した。
イランより決議 155(WRC-15)に関する議論について WP5B 議長よりレポートが無いため、説明するように要求が行われ、WP5B 議長より、主に PFD limit についての報告が行われた。この説明を受けて、イランより決議 155(WRC-15)の議論に関して、長文のステートメントが述べられた。以下にその概要を整理して記載する。

- ✧ WRC-15 での審議行程を批判し、作成された決議 155 が矛盾に満ちている点を指摘し、さらに resolves の数が非常に多いことを指摘
- ✧ 今回 ICAO から WP5B に入力された文書（5B/114、5B/115）は、過去に ITU-R に入力された内容が概ねそのままの形で入力されていた。ICAO の作業部会は限られた主管庁しか開かれておらず、すべての ITU メンバには開かれていない。また、リモート参加も不可能である（注：ICAO の当該パネルのメンバもしくはアドバイザであれば、リモート参加は可能）。決議 155 に係わる参加者は、ICAO の活動について等しく許可されるべきである。
- ✧ ICAO から求められている値は無線通信規則の Appendix 4 を参考にしなければならない。
- ✧ データ要素のマネジメントは ITU メンバが行われなければならない。
- ✧ WRC-15 の決定で ITU 外の他機関について触れていないものは、ITU が完全に責任を持つか、ITU のメンバが入れる開かれた環境で扱われなければならない。（筆者注：ICAO の活動の批判を示す）
- ✧ ICAO が PFD やアンテナ径を議論として扱うのは誤り。

議長より、イランの主張をノートするとともに、ステートメントを Summary Record に載せるために、電子ファイルでのテキスト提出が要請された。これに対して、WP5B 議長より、以下の 3 点が述べられた。

- ✧ イランの発言は国連の別の機関の活動を尊重しないことになる
- ✧ ICAO は ITU と違い国の代表ではなく、専門家が個人の意見を述べる場所である。
- ✧ ICAO からの入力(5B/114、5B/115)はシンプルに質問をしているだけである。

上記を受けて、イランは再度上記の持論を繰り返したが、議長より、イランの意見をノートするが、ICAO には ICAO のルールがあり、ITU はその手続きを尊重しなければならないとコメントが行われた。また、米国より以下の点が言及された。

✧ WP5B 議長のコメントは正しく、パネルメンバと技術面の専門家、主管庁の間にはつながりは無い。つまり、彼らは主管庁ではない。
✧ イランのコメントは、ICAO と ITU の関係だけでなく、IMO や WMO への関係にも影響を与える非常に影響の大きい問題である。
✧ イランのコメントを考慮した上で、本件の議論は打ち切り、次の議事に移るべきである。

議長より、以上を Summary Record に記載して、次の議事に移ることが提案され、合意された。

（２）勧告

WP5B 議長から、以下の勧告改訂案 1 件の提案があった。

① 勧告 ITU-R M.1466「31.8-33.4 GHz 帯の無線航行業務におけるレーダ運用の保護基準および特性」の改訂の提案【入力文書:5/28 (WP5B)】

WP5B 議長より説明が行われ、「PPS: Pulses per second (1/Pulse repetition frequency)」の括弧つきの部分を削除したいとの提案が行われ、合意された。

以上で、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることが合意された。

（３）その他

① 勧告 ITU-R M.2057 改訂の審議体制の検討について

現在、ITS に関する 76-81GHz の自動車レーダのシステム特性を扱った勧告 M.2057 についてレビューが WP5A で行われており、その中に WP5B が責任を持つレーダや無線測位が含まれている。今後、WP5A と WP5B で共同して対処することを WP5A 議長と合意した点がアナウンスされ、当該勧告は WP5A と WP5B の共同管理とすることが合意された。

2.3 WP5C（固定業務及び短波帯の固定・移動業務）関連

（１）WP5C における審議概要

【入力文書:5/34(WP5C 議長)】

WP5C 議長の P. Nava 氏から SG5 会合の直前に開催された第 17 回 WP5C 会合の概要が報告された。本会合では、ITU-R 新報告案 2 件を SG5 へ上程した。

議長報告自体について、ATDI よりエディトリアルな指摘が行われ、Summary Record に指摘点を掲載することで合意された。

（２）報告

WP5C 議長から、以下の新報告案 2 の提案があった。

① 新報告案 ITU-R F.[FS.IMT/BB]「IMT 及び地上モバイルブロードバンドシステムのバックホールのための固定業務利用」の提案【入力文書:5/27(WP5C)】

WP5C 議長より、内容の説明がなされた。

イランより、タイトルに” BB”があるが、意味があいまいなため”Broadband”と修正すべきとコメントされた。議長よりタイトル([FS.IMT/BB])は暫定的なものであり、承認後削除されること、が述べられるとともに、ほかに”BB”がある場合”Broadband”に修正されることが合意された。

また、イランより、報告について Scope は必要ではないが、存在する場合には冒頭に記載する必要があるため、Introduction と Scope の順番を入れ替えることが提案

され、合意された。
上記の修正とともに、新報告案は承認された。

② 新報告案 ITU-R F.[FS/RLS COMPATIBILITY IN 71-86 GHZ]「71－76GHz 及び 81－86GHz 帯で運用される固定業務の P-P/P-MP アプリケーションと 76－81GHz 帯で運用される自動車レーダアプリケーションの両立性」の提案【入力文書:5/30 (WP5C)】
WP5C 議長より、内容の説明がなされた。
イランより P9 の Section 2.6 Interference Scenario mode および、Section 2.6.1 Geometric interference model のタイトルについて、2.6.2 および 2.6.3 に"model"が存在しないことから 2.6 および 2.6.1 のタイトルから model を削除することが提案された。WP5C 議長より Section 2.6 については削除に合意するが、Section 2.6.1 については図中に model が存在するため、残したほうがよいとのコメントが出され、Robert Bosch からも同様のコメントが出され、2.6 のみタイトルから"model"を削除することが合意された。
上記の修正とともに、新報告案は承認された。

2.4 WP5D（IMT）関連

（１）WP5D における審議概要

【入力文書:5/31(WP5D 議長)】
WP5D 議長の S. BLUST 氏から 2016 年 6 月 14-16 日および 10 月 5-13 日で開催された第 24 回、第 25 回 WP5D 会合の概要が報告された。本会合では、ITU-R 新勧告案 1 件、ITU-R 勧告改訂案 3 件、ITU-R 報告改訂案 1 件、その他の文書 2 件を SG5 へ上程した。

（２）勧告

WP5D 議長から、以下の新勧告案 1 件および勧告改訂案 3 件の提案があった。

① 新勧告案 ITU-R M.[IMT.MODEL]「共用検討のための IMT モデリングについて」の提案【入力文書:5/22 (WP5D)】
イランより、勧告名は networks だが、recommends には network and system とあり統一すべきであるとの指摘があった。また、そもそも network と system の使い分けに関して質問がなされた。これに対して、WP5D 議長より systems は主に技術、network は展開を指しており、considering e)にも関連する記載があり、使い分けられているとの回答がなされた。
イランより、勧告名に and systems を付け加えるべきとの提案があり、合意された。
ATDI より、ラムダの表現方法の統一と、CDF の略語の意味を記載するよう指摘があり、その他の点を含め、エディトリアルに対応することで合意した。
上記の対応を行った上で、採択することを合意し、郵便投票による承認プロセスにかけることを合意した。またイランより、WP5D がこの重要で複雑な勧告を完成させたことに際する賛辞が表明され、イランの掛け声で本勧告のドラフティング議長へ拍手が送られた。

② 勧告 ITU-R M.1457-12「IMT-2000 の陸上無線インターフェースの詳細特性」の改訂の提案【入力文書:5/18 (WP5D)】
イランより、本入力文書の冒頭に記載された勧告改訂内容の要約は、改訂内容の把握に有益な情報であり、同様の内容が勧告内の改訂ですべて反映されているか質問がなされた。この質問に対して、WP5D 議長より勧告本文の中でも同様の記載があるとの回答がなされた。

以上で、特に異論はなく採択することで合意され、郵便投票による承認プロセスにかけることを合意した。

③ 勧告 ITU-R M.2070-0「IMT-Advanced の地上無線インターフェースを用いた基地局の不要輻射特性」の改訂の提案【入力文書:5/20 (WP5D)】

イランより、勧告名の generic unwanted emission の generic の意味について質問があり、WP5D 議長より、この勧告は様々な運用状況においてガイダンスとして利用されるものであり、その意味で generic を付与した方が適切との説明がなされた。更にイランより、generic をタイトルから削除して説明のための脚注をつける提案がなされたが、議長より勧告名はそのままとして、脚注のみ付与することが示唆され、WP 5D 議長もこの議長案に同意した。

イランより、recommends の第 2 項は apply の前に他の勧告と同様に should を付与することが提案され、異論なく合意された。

ADTI より、今回追記された noting further の IMT advanced station に関して、基地局を指すのか移動局を指すのかについて質問があり、基地局を指すのであれば M.2071 は修正が必要との指摘がなされた。これに対してイラン、WP5D 議長、およびロシアより、両方を意味するため、M.2070, M.2071 共に現行通り同じ記載でよいとの意見が出された。

議長より、noting further は修正不要とし、generic の脚注追加（会議後にオフラインで対応）、recommends の第 2 項の should を追加の上、採択することが提案された。以上で合意され、郵便投票による承認プロセスにかけることを合意した。

④ 勧告 ITU-R M.2071-0「IMT-Advanced の地上無線インターフェースを用いた移動端末の不要輻射特性」の改訂の提案【入力文書:5/21 (WP5D)】

議長より、M.2070 と同様の対応を行い、採択することが提案され、合意された。郵便投票による承認プロセスにかけることが合意された。

（３）報告

WP5D 議長から、以下の改訂報告案 1 件の提案があった。

① 報告 ITU-R M.2291-0「広帯域 PPDR への IMT の利用」の改訂の提案【入力文書:5/19(WP5D)】

イランより、3.2.5 章の security という名称について、意味が広すぎるため、network security とすることが提案され、修正の上、承認することで合意した。また、事務局が本報告の改訂について関連する ITU-D SG2 に情報共有することとした。

（４）その他

① 「IoT 展開のための周波数管理」ワークショップに関する WP5D の見解【入力文書:5/17(WP5D 議長)】

特に質問なくノートされた。

② 報告 ITU-R BT.2337 の改訂に関する SG6 及び WP6A へのリエゾン【入力文書:5/23 (WP5D)】

イランより、本リエゾンにおける進め方に関して、SG5 のアドバイスを求めていたと認識していると発言があり、単にノートするだけではなく、SG5 からのガイダンスを出すべきと主張した。これに対して議長から、この報告 ITU-R BT.2337 は WP6A および WP5D の合意が必要であり、引続き WP6A と協力して進めることが重要との発言がなされた。また、WP5D SWG sharing 議長、WP5D 議長より、現在の認識について説明、および検討を継続していくとの発言がなされた。

2.5　Task Group 5/1 関連

（１）Task Group 5/1 における審議概要

【入力文書:5/26(TG 5/1 議長)】
TG 5/1 議長の C.Cook 女史より 2016 年 5 月に実施された TG5/1 第 1 回会合の報告が行われた。
イランより、会合の場所がジュネーブ以外の場合は参加の負担が大きくなるという懸念、および検討課題が複雑であり審議の長時間化が予想されるためマネージメントチームが計画的に会議を運営するべきという発言がなされた。これに対して、TG 5/1 議長から、指摘の事項は理解しており、場所については決定次第周知するとの発言がなされた。

2.6　SG5 のその他全体に関わる事項

（１）他の SG からのリエゾン等

１）　SG6A とのリエゾン
① 470-694/698MHz 帯の IMT を含むデジタル陸上移動広帯域利用間での共用検討である報告 ITU-R BT.2337 の改訂に関する SG5 への情報提供のリエゾン、WP5D にはコピーの提供【入力文書:5/24(WP6A)】
議長より、5/23（WP5D）で紹介済みである点が言及された。

２）　ITU-T とのリエゾン
① Quality of Experience (QoE)および勧告 P.10/G.100 における新単語の定義更新に関する SG5 への情報提供のリエゾン【入力文書:5/16(ITU-T SG12)】
特に質問なくノートされた。

（２）SG4 との共同責任下で更新中の勧告

① SG4 および SG5 の共同責任下での勧告およびその他 ITU-R 文書の将来的な更新についての SG5 への情報提供のリエゾン【入力文書:5/25(SG4)】
議長より、小さな修正を加えたことが言及された。
特段質疑無く、合意された。

2.7　IoT 展開のための周波数管理のワークショップ

議長より翌日（11 月 22 日）に開催される SG1 及び SG5 共催の Workshop について紹介が行われた。

３　今後の予定

カウンセラーの S. Buonomo 氏より今後の会合予定（以下に掲載）が共有された。その中で 2017 年については、日程については確定であるということが言及された。

日程	会合名	場所
2017 年 2 月 14 日～22 日	WP 5D	ジュネーブ
2017 年 5 月 15 日～23 日	TG 5/1	ジュネーブ
2017 年 5 月 22 日～6 月 2 日	WP 5A, WP 5B, WP 5C	ジュネーブ
2017 年 6 月 13 日～21 日	WP 5D	未定

2017 年 9 月 20 日～29 日	TG 5/1	未定
2017 年 10 月 3 日～11 日	WP 5D	未定
2017 年 11 月 6 日～17 日	WP 5A, WP 5B, WP 5C	未定
2017 年 11 月 20 日～21 日	SG 5	未定
[2018 年 1 月 17 日～26 日]	TG 5/1	未定
[2018 年 1 月 31 日～7 日]	WP 5D	未定
[2018 年 4 月 23 日～5 月 4 日]	WP 5A, WP 5B, WP 5C	未定
[2018 年 5 月 1 日～10 日]	TG 5/1	未定
[2018 年 6 月 13 日～20 日]	WP 5D	未定
[2018 年 9 月 3 日～12 日]	TG 5/1	未定
[2018 年 10 月 3 日～10 日]	WP 5D	未定
[2018 年 11 月 5 日～16 日]	WP 5A, WP 5B, WP 5C	未定
[2018 年 11 月 19 日～21 日]	SG 5	未定

注：[ ]は未定であることを示す。

ATDI より、本日の SG5 の進行を鑑みると、2017 年の SG5 の開催日数が 2 日間、2018 年が 3 日間というのは多いのではないか、との疑問が呈された。議長より、今後レビューを行うが現時点では予想ができないため、適宜状況を見て決めたいとのコメントが行われた。

米国より今回の WP5C で日曜日の審議が入るなど、時間が足りず、また前研究会期よりも検討事項が多いため、WP5C の開催日程（現状では水曜日まで）を再検討してほしいとの要望が出された。これに対し、イランより、CPM よりかなり前にも係わらず土日に審議を行うことに対して懸念が示され、どの WP も CPM 直前で無い限り土日に 2~3 時間以上の審議を行うべきではないとの主張が行われた。また、議長は中立であるべきとの言及も行われた。これに対して議長は上記のコメントをノートすると返答した。

ルクセンブルクより、2018 年 5 月の会合において WP5A/B/C が TG5/1 と 2 日間日程が重なっている点について、参加者の数が限られていることから、極力重複を減らしてほしいとの要望が行われた。これに対して、イランより、重複は 1 日もあってはならないとの主張が行われた、議長よりカウンセラーが重複を最小化する努力を行うことが言及された。

以上

表4　SG5入力文書一覧

文書番号	提出元	タイトル
R12-270	Chairman, SG 5	Summary Record of the meeting of Study Group 5 (Geneva, 20 - 21 July 2015)
5/15	Chairman, SG 5	Summary Record of the meeting of Study Group 5 (Geneva, 9 May 2016)
5/16	ITU-T SG 12	Liaison statement on revised definition of Quality of Experience (QoE) and new terms in Recommendation P.10/G.100
5/17	Chairman, WP 5D	Note to the Chairmen of Study Groups 1 and 5 (copy to WPs 5A and 1B) - Working Party 5D perspective on Workshop on "Spectrum management for Internet of Things deployment"
5/18	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-12 - Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)
5/19	WP 5D	Draft revision of Report ITU-R M.2291-0 - The use of International Mobile Telecommunications (IMT) for broadband Public Protection and Disaster relief (PPDR) applications
5/20	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2070-0 - Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of MT-Advanced
5/21	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2071-0 - Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-Advanced
5/22	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.MODEL] - Modelling and simulation of IMT networks for use in sharing and compatibility studies
5/23	WP 5D	Liaison statement to Study Group 6 and Working Party 6A (copy to SG 5) - Revisions to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz
5/24	WP 6A	Liaison statement to Study Group 5 (copy to WP 5D) - Revision of Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz
5/25	SG 4	Liaison statement to Study Group 5 - Future updating of the Recommendations and other ITU-R texts under responsibility of Study Groups 4 and 5
5/26	TG 5/1	Executive Report on the first meeting of Task Group 5/1
5/27	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[FS.IMT/BB] - Use of fixed service for transport of traffic, including backhaul, for IMT and other terrestrial mobile broadband systems
5/28	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1466 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radionavigation service in the frequency band 31.8-33.4 GHz
5/29	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[RAIL.LINK] - Introduction to railway communication systems in certain countries

文書番号	提出元	タイトル
5/30	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[FS/RLS COMPATIBILITY IN 71-86 GHZ] - Compatibility between P-P applications in the fixed service operating in the 71-76 GHz and 81-86 GHz bands and automotive radar applications in the radiolocation service operating in the 76-81 GHz bands
5/31	Chairman, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D
5/32	WP 5A	Draft revision to Recommendation ITU R M.1732 -1 - Characteristics of systems operating in the amateur and amateur-satellite services for use in sharing studies
5/33	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M.2014-2 - Digital land mobile systems for dispatch traffic
5/34	Chairman, WP 5C	Executive Report on the sixteenth /seventeenth meetings of Working Party 5C
5/35	Chairman, WP 5A	Executive Report of the meeting of Working Party 5A
5/36	Chairman, WP 5B	Executive Report on the seventeenth and eighteenth meetings of Working Party 5B (Geneva, 10-20 May and 7-18 November 2016)
5/37	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 5/15 - 5/37)
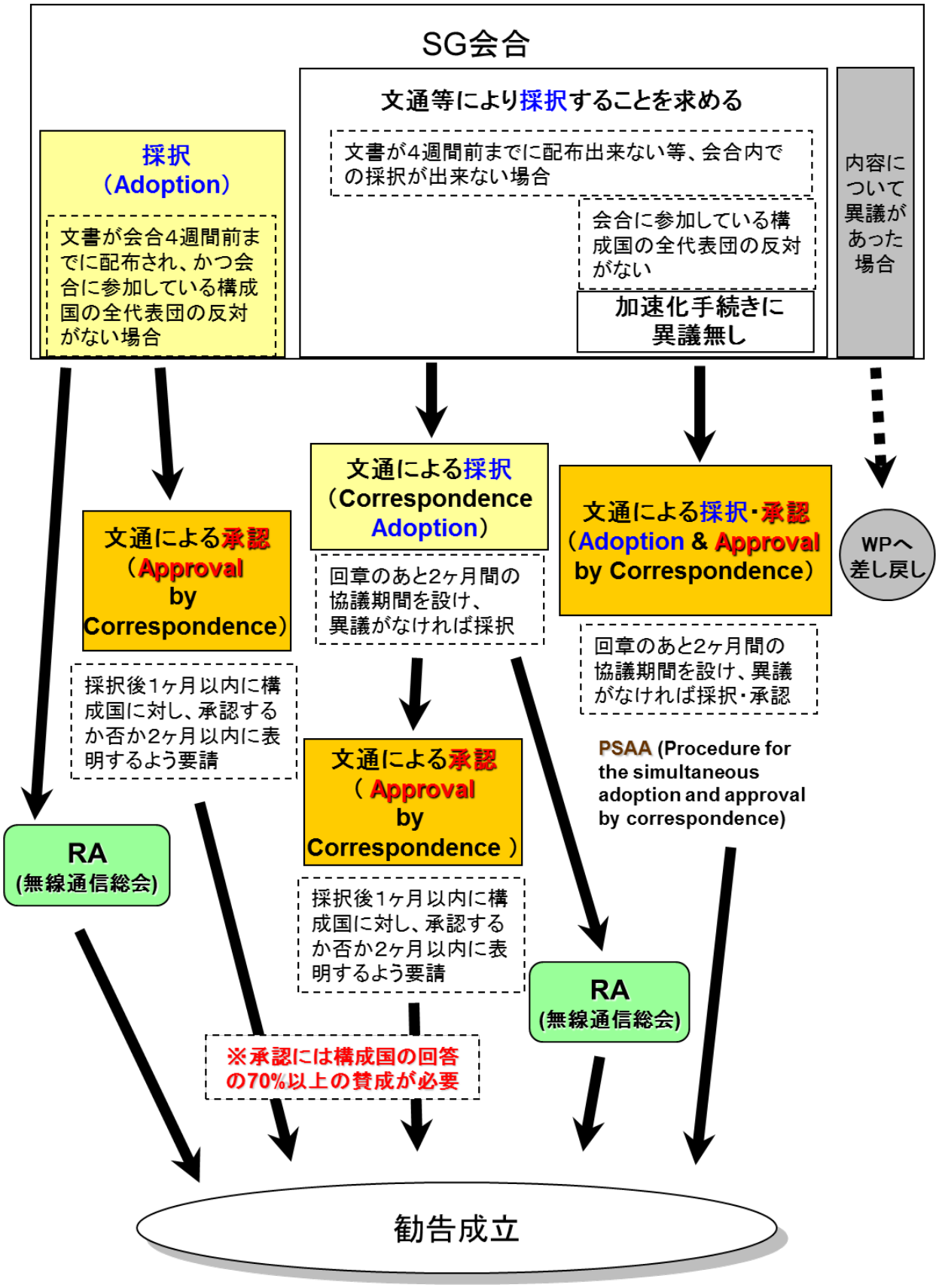
図１　勧告文書の承認プロセス